

平成 27 年度 南信教育事務所だより

# 教学半也

教うるは 学ぶの 半ばなり

第 8 号 3 月 14 日 ( 月 )

仙丈ヶ岳(南アルプス)

## 目 次

1. あいさつ
2. 学校訪問要請  
～自校のニーズに合った要請にするために～
3. 研修報告  
① 発達障がい支援研究協議会  
② 1 年次・2 年次  
プログレス研修会
4. いじめ・不登校支援

## あ い さ つ

### 南信教育事務所長

#### 大屋 誠

学校には澄みわたった歌声と子どもたちの笑顔が似合う。廊下に飾られた俳句や絵画、庭先に咲いた手入れされた花々、野菜の一つひとつに子どもたちの心の優しさが滲み出ている。そこに子どもたちを慈しみ、見守っている校長先生を始めとした教職員がいる。学校を支えてくれる地域の皆さんの眼差しが温かい。そんな学校をいつも拝見させていただきました。一年間、本当にありがとうございました。



### 学校教育課長

#### 藤森 一俊

「心にふるさつをつくっていく勉強」「未来のことを考えることが大事」1 年間取り組んだ総合的な学習の時間を、こう総括した子どもがいます。すべての学級で起きている、日々の貴重な出来事。それを平凡に続けていくことが、子どもを育み、子どもの未来を創っていくのだと思います。

一年間ありがとうございました。

### 生涯学習課長

#### 曾根原 正樹

各学校では信州型コミュニティスクールの推進が行われています。ボランティアのみなさんのかかわりがコミュニティスクールを支えています。地域も学校も互いに課題を共有し、大人も子どもも学び続けられる地域づくりが始まっています。来年も地域や学校に出向き支援していきます。

一年間ご協力いただきありがとうございました。

### 飯田事務所長

#### 福興 雅寿

学力向上・少子化に伴う少人数教育の充実等各校の課題解決に向け、主体的に研修に取り組み学び合う先生方や地域の皆様、地域と連携し教育に一丸となって取り組む学校の姿に敬服する日々でありました。飯田事務所も「学校・地域に密着した支援」に向け一層の充実に努めて参ります。今後ともよろしくお願ひします。一年間大変お世話になりました。

## 学校訪問要請 ～自校のニーズに合った要請にするために～

新年度に向けて、研究計画の立案を進めていただいていることと思います。要請計画を立てる際に、下記の内容も参考にいただき、より自校のニーズに合った要請計画、学校及び教師一人ひとりの授業力、教師力の向上に資する要請計画となりますようご検討をお願いいたします。

### 研究全体に関わる要請



研究主任として研究推進に迷っています。3観点を大切にした授業づくりをどのように進めたらよいのか困っています。



学校の課題について、研究授業を通しての支援はもちろんのこと、研究体制づくりや推進計画についての支援も行います。

#### 訪問要請の例

- ・研究主任と学校教育課長、学力向上担当や教科担当の主事等で懇談。
- ・教科主任会、学年主任会などの場に主事が一緒に参加して。

### 授業なしでの要請



研究授業なしで、教科会や研究部会に来てもらい、教材研究や指導案づくりの支援をして欲しいのですが…

授業づくりについても一緒に考えさせていただきま  
す。学年会・教科会等の一員に加えていただき、教材  
や学習カード等を考えたり、主眼や展開を検討したり  
したいと思います。



#### 訪問要請の例

- ・下校後の教科会や研究部会のみ要請。
- ・授業者の模擬授業等による事前研究会へ主事も一緒に参加して。

### 研修会等への支援



ICT 機器が導入されます。  
その活用方法を全職員で考えたいのですが…



「ICT 機器の活用」「言語活動の充実」「少人数指導」「家庭学習」など、どの教科領域でも大切に考えたい点があります。そうした内容に関わる研修会にも主事を活用して下さい。模擬授業や演習形式による研修会、研究会も行います。

#### 訪問要請の例

- ・「ICT 活用研修会」…ICT 担当主事+教科担当主事で
- ・「言語活動についての研修会」…複数の教科担当主事で
- ・「家庭学習研修会」…学力向上担当+教科担当の主事で

### 複数回の継続支援



「総合的な学習の時間」で要請計画を立てています。  
内容の特性から継続的な訪問要請をしたいのですが…



学習の展開に合わせて、計画的な複数回の訪問を要請して下さい。もちろん、授業無しで学年会等に参加する形態など、その時のニーズに合わせた要請に応じます。

#### 訪問要請の例

- ・前期の授業で協議された課題をもとに検討できるように、2回目の要請を後期に位置付け。
- ・課題について、複数の教科で考えるために、複数回訪問を。

## 若手の先生への支援



初任や講師の先生方が多いので、指導案の書き方などの訪問要請を考えているのですが…。

若手の先生方が困っていること、知りたいことにもお応えしていきます。

### 訪問要請の例

- 教科会、学年会などに同席して、一緒に指導案づくりを。
- 若手の先生を中心とした勉強会などへ同席して。



## 全国学調等に関わる支援



全国学調やP調査C調査の結果をどのように分析して、授業づくりにどう生かしていったらよいかを考えたいのですが…。

結果分析の方法を紹介したり、授業改善の方向について、一緒に考えたりします。

### 訪問要請の例

- 該当教科の担当主事と学力向上担当主事の複数要請で。
- 全国学調早期採点への支援、P調査C調査の分析サポートを活用して。



## 学級づくりへの支援



学力体力向上のためにも、一人一人の居場所がある学級づくりをしたいと思います。学級づくりに関する支援を要請したいのですが…。

「特別活動」「道徳」「総合的な学習の時間」をはじめとした教科領域を窓口として、学級づくり等にも焦点を当てた訪問要請にもお応えします。

### 訪問要請の例

- 教科担当主事と生徒指導主事の同一日要請で。
- 「Q-U調査」の結果分析や具体的な取組と一緒に検討。



## 特別支援学級への支援



特別支援学級在籍の子どもたちの個別の指導計画の作成や活用について支援を要請したいのですが…

子どもの行動のとらえや具体的な支援について、一緒に考えます。

### 訪問要請の例

- 授業なしで、個別の指導計画を一緒に作成
- 特別支援学級の教科担任者会に同席して



## 最新の教育情報についての支援



道徳の教科化や、小学校高学年で始まる英語など、新たな動きの中で不明な点を教えて欲しいのですが…

教育課程研究協議会だけでなく、日々の訪問の中でも、情報提供に努めていきます。

### 訪問要請の例

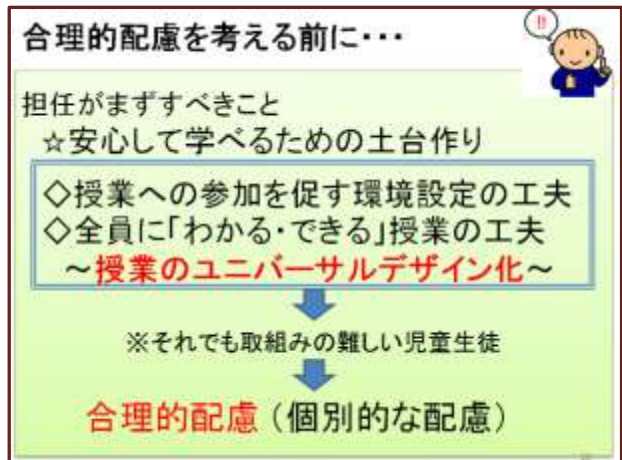
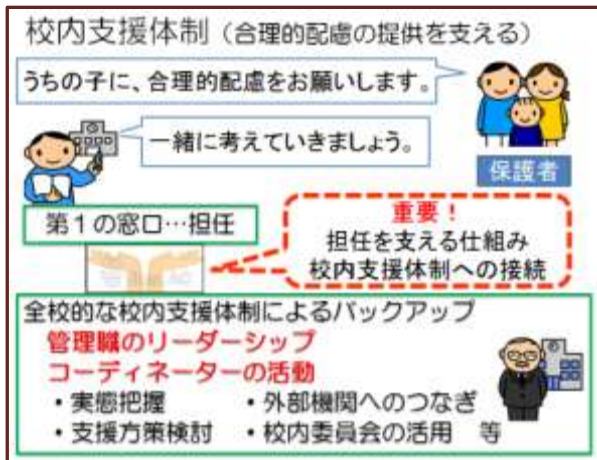
- 担当主事による研修会を企画して。  
小学校での英語科(外国語活動・英語担当主事)  
道徳の教科化(道徳担当主事) 新学習指導要領にむけて(学力向上担当主事) 信州型コミュニティスクール(生涯学習課主事)





# 南信地区発達障がい支援研究協議会報告

1月26日(火)に行われ、通常の学級に在籍する発達障がいの児童生徒等に対する「教職員の支援力の向上」と「校内支援体制の確立」について、県からの情報提供・各校の取組の情報交換をしました。



学校現場での「合理的配慮」とは

- 障がいのある児童生徒が、学校教育をうけるときに
- ① その児童生徒の障がいに合った必要な工夫や方法について配慮すること。
  - ② その実施が学校の設置者及び学校にとって、負担になりすぎない範囲で行うもの。

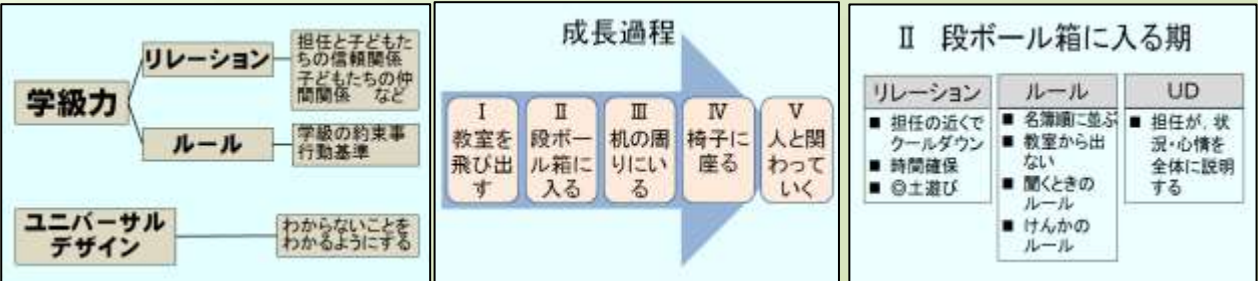
## 実践発表

**「皆で活動できる学級を目指して」**  
箕輪東小学校 倉田美季教諭



「一人一人を大切にすることは当たり前ですが、学級力がものすごく大切！」  
「学級力があれば、Aさんは、ゆっくりでも失敗しても、みんなの中で確実に成長していける！」

- 【取組のポイント】**
- ①学級力を高めるための視点「リレーション」「ルール」+「ユニバーサルデザイン(UD)化」
  - ②特別な支援が必要な子どもの成長過程をとらえ、それぞれの段階に応じて①の3つの視点から支援
  - ③定期的なQ-Uによる学級集団の把握と支援の評価



↑ 倉田先生の発表スライドから抜粋

- 【参加者の感想】**
- ・困っている子へ、一つずつ段階を踏んで対応しながら、まわりの子どもとともに育っていく様子がわかりました。
  - ・「子どもは、決して好き勝手にしたいわけではない」「どの子ども、よりよくありたいと願っている」というお話、心に置いてクラスの生徒たちと向き合っていきたい。

# 1年次・2年次プログレス研修会

## 1年次 プログレス研修



1. グループ協議  
(ポスターセッション)
2. 全体協議  
(1) ポスターセッション  
(2) 1年次の振り返り
3. まとめ

### 【研修のまとめより】

- ・ 1年間不安や悩みで一杯の日々でしたが、今日様々な先生方の取組を聞いて、少し気持ちが楽になりました。同じように悩み、試行錯誤しながらがんばっている仲間がいるんだと改めて思えました。私もがんばっていきたいです。
- ・ 先生方の1年間の実践を聞かせていただき、どれも明日から取り入れられそうなものばかりでした。すぐにやってみたいと思いました。

### 【福與雅寿 飯田事務所所長より まとめ】

- ・ わからないことを教えてくれる先輩、愚痴を言い合える仲間の存在を大切に。
- ・ 毛涯章平先生の言葉にもあるように、この道は果てしなく続く道。憧れと自戒の念をもち、子どものために共に学び続けていきたい。



## 2年次 プログレス研修



1. グループ協議  
(ポスターセッション)  
(2年次の振り返り)
2. 全体協議  
(グループの報告)
3. 3年次の課題 記入
4. まとめ



### 【先生方の3年次の自己課題】

- ・ 子どもの学ぶ意欲や追究心につながる「課題をもたせるときの観点の絞り方、問い方」を意識する。
- ・ 生徒にとって「ハッ」とする気づきのある授業づくりをする。  
愛情と時間をかけた教材作り！  
仲間と学びあう時間を最大限作る！  
研修を積み自分に「技」をつける！

### 【藤森一俊 学校教育課長より まとめ】

本日のグループ協議について

- ・ ポスターセッションの中に先生方の光るつばやきがあった。  
「ここ大事だよね」「いいね…」「こういうこと私はやってなかったな」等
- ・ 先生方の中で主に話題になったこと

「関わり」(子どもどうし、先生と子ども)と「続ける」(平凡なことを平凡に続けていく)自分を謙虚に振り返り、よりよいものを取り入れようとする品格ある研修となった。



## いじめ対策・不登校地域支援チームより

### 平成27年度の取組



今年度も「いじめ・不登校地域支援チーム」の取り組みにご理解とご協力をいただきありがとうございました。ここ数年で不登校対策の取組は、事由「不登校」のみに着目するだけでなく、「長期欠席」全体に目を向け、その対応策を検討・改善し、チームで支援していくという方向にシフトしてきています。

このチームは、学校内に止まらず、地域や関係外部諸機関との連携を含めた大きなチームということになります。そして、長期欠席児童生徒へ、初期段階からの手厚い支援を行うと共に、未然防止の観点からの取組も加え、長期欠席となりうる様々な要因に働きかけていこうとする形です。県では、この支援体制の強化を図るために、今年度、スクールカウンセラー（SC）を増強しました。そして、次年度はスクールソーシャルワーカー（SSW、以下「SSW」）の増強が予定されています。

そこで、学校現場でより機能する支援体制の再構築を推進するため、事務所では、相談員、SSWが訪問支援を通して、逐次、学校が主体となり、諸関係機関と連携した支援を行うことの効果性、必要性を説明し、その取組をお願いして参りました。

次年度も、長期欠席児童生徒への手厚いご支援、ご対応を宜しくお願いいたします。

### 次年度のチーム支援計画のポイント



学校教育課長をリーダーとし、いじめ・不登校相談員、SSW、生徒指導専門指導員、全指導主事で組織する「いじめ・不登校地域支援チーム」では、次年度次の3点を重点的に引き続き取り組みたいと思います。

- (1) 学校訪問により取り組み状況を把握（情報収集）し、支援に役立つ情報を発信します。
- (2) 学校と市町村、医療機関、児童相談所などの関係機関とをつなぐネットワークづくりへの支援をします。
- (3) 地区推進会議（5月、10月）、中学校不登校生徒等個別高校相談会（上伊那、下伊那、諏訪会場）を開催します。

すべての子供たちが笑顔で登校できる学校づくりを支援していきたいと思っています。何かお困りのことなどありましたら遠慮無く事務所までご一報いただければと思います。次年度も引き続き宜しくお願いいたします。